

令和3年4月2日
愛媛大学

国際高圧力学会（AIRAPT）の P.W.ブリッジマン賞の受賞者に 入船 徹男 GRC センター長が決定（記者説明会を開催）

このたび、国際高圧力学会（AIRAPT）が2年に一人選出する P.W.ブリッジマン賞の2021年の受賞者として、入船 徹男（いりふね てつお）GRCセンター長が選出されたと発表されました（令和3年4月1日付）。

高圧物理学でノーベル賞を受賞した P.W. Bridgman を冠した当賞は、国際高圧力学会の最高賞にあたります。

つきましては、本件に係る記者説明会を以下の通り開催しますので、是非、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和3年4月6日（火）13：00～14：30

※説明会終了後、ご希望があれば地球深部ダイナミクス研究センターの実験室をご案内します。

場 所：愛媛大学本部5階 第1会議室（愛媛県松山市道後樋又10番13号）

出席者：入船 徹男 地球深部ダイナミクス研究センター 教授・センター長

※進行等詳細について、変更になる場合があります。

記者説明会に関する問い合わせ先

総務部広報課 今岡

TEL：089-927-8968

FAX：089-927-9052

Mail：koho@stu.ehime-u.ac.jp



入船 徹男（いりふね てつお）

三重県生まれ 66 歳

京都大学理学部卒・名古屋大学修士課程、北海道大学博士課程修了
オーストラリア国立大研究員、北海道大学理学部助手、愛媛大学理学部
助教授・同教授、を経て現在愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター
教授・センター長・愛媛大学特別栄誉教授

紫綬褒章、フンボルト賞、R.W.Bunsen メダル、A.E.Ringwood メダル、日
本高圧力学会賞などを受賞

【受賞概要】

AIRAPT は高圧力を用いる物理、化学、地球科学、材料科学、生命科学などの広範な分野の研究者により運営されている学際的な国際学会で、1965 年にフランスで第一回が開催されました。当初はヨーロッパを中心に総会が開催されていましたが、その後ヨーロッパ、北米、アジア及びそれ以外の地域で、2 年おきに通常 700-900 人程度の参加者のもと開催されています。

AIRAPT 評議員会では毎回の総会に合わせて、高圧力の科学と技術の発展において顕著な業績をあげた研究者 1 名に、高圧物理学分野におけるノーベル賞受賞者である P.W.Bridgman（ブリッジマン）の名前を冠した AIRAPT の最高賞を授与しています。第 28 回 AIRAPT 総会が開かれる 2021 年度のブリッジマン賞受賞者として、地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）の入船徹男愛媛大学特別栄誉教授・GRC センター長が決定されたとの結果が 4 月 1 日付で発表されました。

今回の選考では 5 名の候補者がノミネートされ、選考委員会及び評議員会での投票により入船センター長が受賞者として選出されました。選考では特に同センター長の 1) マントル及び沈み込むプレート物質内部の超高压下での相変化・密度変化の解明とマントルダイナミクスへの応用、2) 放射光と大型超高压装置を組み合わせた、超高压下での X 線その場観察と物性測定による地球深部物質の特性解明、3) 超高压合成技術を応用したナノ多結晶ダイヤモンド（ヒメダイヤ）の合成とその応用が、高く評価されました。

ブリッジマン賞の授賞式と受賞講演は 2021 年 7 月にエジンバラで開催する、AIRAPT 第 28 回総会と第 60 回ヨーロッパ高圧会議の合同大会中に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の状況のもと、2023 年に延期されることが決定されています。AIRAPT 総会は、日本では 1974 年（京都）、1997 年（京都）、2009 年（東京）で開催されており、エジンバラの次は 2023 年に松山での開催が決定されていましたが、この措置にともない 2025 年に延期される予定です。なお入船センター長は、2011-2015 年にアジアから初の AIRAPT 会長を 2 期務めています。



ブリッジマン賞メダル（AIRAPT の HP より）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

入船 徹男（教授・センター長） 電話：089-927-9645、メール：irifune@dpc.ehime-u.ac.jp